

くめじま

議会だより

2015.9.1

No.53

6月定例会

6月定例会で決まったこと	2
町政を問う 一般質問	3~10
意見書 採択	11
議会のうごき、旭日単光章受章	12

平成27年6月（第3回）定例会は、6月17日から18日の2日間の日程で行われました。

定例会では、議案14件を審議し、すべて原案どおり可決・同意しました。17日の一般質問では9人が登壇し活発な審議が行われました。

6月定例会で 決まったこと

27年度補正予算 ※全員賛成

- 一般会計補正予算（第1号）
75億4288万円（2億6348万円増）

条例の改正、制定 ※全員賛成

- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例
- 久米島町島の学校体験交流施設条例の一部を改正する条例

一般審議 ※全員賛成

- 町道認定
町道の路線を認定
路線番号 257
路線名 仲泊新興通り線
起 点 久米島町字仲泊1161
終 点 久米島町字仲泊1163

- 建物売買契約
契約の目的 建物売買契約
契約の方法 随意契約
契約金額 2496万円

報告 ※全員賛成

- 26年度一般会計繰越明許費繰越計算書
- 26年度下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書

一般審議 ※全員賛成

- 議決内容の一部変更
 - ・ イーフ浄化センター水処理設備改築工事請負契約
 - ・ 鳥島漁港B波除堤整備工事請負契約

専決処分 ※全員賛成

- 地方税法の一部改正による町条例の一部改正

契約 ※全員賛成

- デジタル教科書操作用端末機調達契約
契約の方法 指名競争入札
契約金額 939万円
契約の相手 株式会社 オーシーシー

- デジタル教科書調達契約
契約の方法 指名競争入札
契約金額 826万円
契約の相手 株式会社 オーシーシー

- デジタル教科書操作用端末機調達契約の一部変更
契約金額 1019万円

委員の選任・任命 ※全員同意

- 久米島町固定資産評価審査委員会委員の選任
日高清有氏
- 教育委員会委員の任命
山元朝弥氏

議員提出 ※全員賛成

- 久米島町議会委員会条例の一部を改正する条例
- 手話言語法制定を求める意見書



幸地 猛 議員

問 定住人口増加を

答 産業振興部門を中心に議論

幸地 定住人口の重要な要素である「しごと」の創造に向けて、海洋深層水を核とする「しごとづくりに」とその経済効果についてコンソーシアムを発足して議論を重ねていくとあるが具体的な推進とは、また現在の取り組み状況は。

町長 コンソーシアムでは産業振興部門を8部会を設けて産業化の可能性とその効果について議論している。産業化には5年を目処にしていく。「しごとづくり」について海洋深層水関連の雇用者数は約200人である。既存事業と新規事業の拡大により現在の6倍近い1,200人の雇用が期待できるとされている。取水量については、現日量1万3千トンを約10倍の10万トンを目指している。全ての関連企業の設備には200億円かかる。国、県もコンソーシアムに参加して実現に向けて協議している。

幸地 先の議会で町は新たな火葬場建設について久米島町火葬場整備計画を策定して取り組むと答弁している。現在どのような取り組みをしているか。

町長 本町の火葬場は昭和54年に建設され築36年余りを経過し、建家・火葬炉の老朽化が進んでいる。又、近年生活様式や住宅事情から葬斎場の整備が求められている。火葬場の改築、葬斎場の新設及び墓地公園の一体化した施設整備を同一敷地内に整備を検討している。敷地としては県事業の儀間ダム整備計画事業が本年度で終了し土取場の敷地が町に返還される。返還方法に向けてダム事務所と調整するため概略設計を作成している。概略設計後に検討委員会を設置し久米島町葬斎場整備計画に取り組み。議会終了後議員の皆さんにも現地調査をしてもらい検討する。



問 葬斎場整備計画は

答 葬斎場と墓地公園の一本化で整備

問 畜産の振興を

答 支援をして行く



翁長 学 議員

【町長】 J A久米島支店と、9月下旬頃に実施する方向で資料の収集分析を行っている所である。

【翁長】 2点目、農家にバカスの十分な配布をお願いしたい。牛の生育の環境作りには、バカスが最適である。

【町長】 町長は、27年度施政方針の中で、畜産振興に取り組んで行くと言っている。3点伺いたい。1点目、町長は、トップセールスを行う考えはないか。

【産業振興課長】 畜産農家以外からも、要望があり、調整をして配分を徹底して行きたいと考えている。

【翁長】 3点目、町が行っている農家への助成事業を、今後継続して支援してほしい。

【産業振興課長】 優良繁殖雌牛導入事業の補助をしており、一括交付金の全体の枠があり、その枠が出た場合は、更に増頭できるように、早目に執行に心掛けて行く。

問 野菜等輸送の保冷車導入を

答 次年度に向けて取組む



平良義徳 議員

【平良】 久米島産野菜の県外出荷状況、まず搬入分をJ A集荷場の冷蔵庫に保管し、明朝フェリーで常温で四時間以上をかけた本島まで輸送、それからJ A本店にて真空予冷をかけた空輸で市場へ輸送、競りをかけ業者へ販売この様に搬入から市場まで四日間経過する。常温時間もあり品質の劣化が起きる。問題解消に向けて見解を伺う。

【町長】 野菜輸送の保冷車の導入に向け資

料収集を行っている。

【平良】 冒頭で述べたが、輸送過程において品質問題が起きる為、市場からのクレームがある。先方からの要望を受けると改善する事により信頼関係が保たれるので再度、保冷車の導入をして頂きたい。町長のコメントは。

【町長】 これからも環境整備は大事、農家が安心して出荷体制ができる様町としても取り組んでいく。

問 鳥島射爆撃場の早期返還を



宇江原総清 議員

答 引き続き関係団体等と検討

宇江原 アメリカ力軍は、沖縄市サッカー場にダイオキシンのドラム缶一千本を投棄。鳥島射爆撃場に一五二〇発の劣化ウラン弾を打ち込んだ。更に大気圏内核爆実験を米国内含め、一〇三〇回行った。クリントン政権の放射能人体実験調査委員会が判明したものの。アメリカ軍は、嘉手納弾薬庫に四〇万発貯蔵されているといわれる劣化ウラン弾をまた鳥島射爆撃場で消費するつもりで

る。翁長知事のよう
に民衆を引張り、町
民総ぐるみの早期返
還運動の意思はある
のか。
町長 県軍転協を通
じ、毎年継続して要
請。大会等の開催は、
引き継ぎ関係団体と
調整、検討したい。
宇江原 アメリカや
日本政府も真実を隠
し、嘘の情報を流し、
民心を分断させる。
これを見抜けないよ
うでは、戦前への道
へ歩ませる。私は専
守防衛に徹すべきと
の考え。集团的自衛
権行使で安倍政権は
非常に危険だ。今後
注視が必要だ。

問 浦地川の保護区指定へ

答 必要性を検討、県に相談

宇江原 本町には、
クメジマボタル、キ
クザトサワヘビの県
指定天然記念物がい
る。浦地川サイドに、
サガリバナ、クメノ
サクラやオキナワサ
ザンカ等を植え、ク
メジマボタル等を増
やし、世界自然遺産
へ繋ぐ。そのために、
①浦地川を保護区に、
クメジマボタル等を
国の天然記念物の指
定要請すべきではな
いか。全国ホテル研
究会久米島大会開催
の意思はあるのか。
教育長 ①の保護区
指定は、必要性、民
有地の状況等を確認、
県等へ相談する。②
のホテル大会は、関
係機関と調整、前向
きに検討。又、クメ
ジマボタルとキクザ
トサワヘビを国指定
文化財に指定につい
て、文化庁から話が
あったと把握。
宇江原 久米島大会
は、二〇一九年の想
定で、浦地川の環境
整備と世界自然遺産
への登録が不可欠だ。
町長 先だって、静
岡大会の報告をホタ
ル館、観光協会から
あった。関係課を中
心に積極的に取り組む。

①浦地川を保護区に、クメジマボタル等を国の天然記念物の指定要請すべきではないか。全国ホテル研究会久米島大会開催の意思はあるのか。

教育長 ①の保護区指定は、必要性、民有地の状況等を確認、



問 離島から県議会議員を

答 慎重に判断する



玉城安雄 議員

玉城 以前から要請してきた県議会選挙の区割りについては、島尻郡区は那覇、離島選挙区として那覇市へ合区するとの案が上程され可決される見通しである。今後の展望を伺う。

町長 この件については南部離島町村長議長会を通して以前から要請してきた。原案通り可決されれば周辺離島、郷友会等と連携が図られ様々な活動が期待される。

玉城 離島出身者の

町長 今後の展開によって関係者と意見交換しながら慎重に判断していく。

玉城 子育て支援については助成金等様々な施策がとられているが子育て環境についてはどうか。

町長 27年度から5年間を計画期間として子育て事業計画を策定しているその中で環境の整備等盛り込んでいく。

玉城 子育て支援事業計画とはどんな内容か。

福祉課長 子供の健全やかな成長と家庭における子育てを地域社会全体で支援する環境を整える目的で取り組む。

玉城 今策定中の久

玉城 子育て支援に米島町総合計画の中でも人口減少に歯止めをかけるを最重要課題として取り組んでいる。雇用の確保も含め子育て環境の整備も重要と考えるがどうか。

町長 子育てと仕事が両立できる制度、児童館、公園の整備、年間行事が多いという問題が上がっている。環境整備については議論が必要であり今後真剣に取り組む。

玉城 あずかり保育については、期間、保育時間等、課題があるように思われる

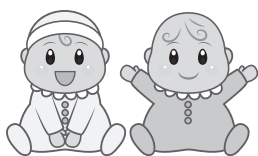
教育長 今後運営の問題も含め良い方法がないか検討する。

玉城 財政の面ではどうか。

企画財政課長 国の政策である地域創生戦略と総合計画と絡めて子育て支援にとして使える部分を策定し国に陳情する。

問 子育てと仕事の両立できる島へ

答 安心して仕事ができる環境作りに取り組む



問 幼児医療費の改善を

答 他市町村の動向を見ながら検討

棚原 乳幼児医療費の助成対象は何歳までか、支給方法を伺いたい。

町長 入院が中学校卒業まで通院が3歳児までとなっている。十月から改正の予定で通院が就学前までとなる。支給方法は支払った領収書をもって役場窓口での

申請となり口座振り込みでの支給になる。

棚原 県内の他の市町村と比較して助成対象年齢が低水準にあり十月改正予定の

通院について中学卒業まで引き上げるこ

とができるか。**福祉課長** 他市町村でもそれ以上の引き上げをやっている市

町村もあるが久米島町は就学前の引き上げに止めている。他市町村の動向も見ながら財政との相談になる。

棚原 久米島町のホームページでは入院については5歳未満ということ載っているが、答弁の中では中学卒業までということ。統一した内容で掲載してもら

わないと町民の方も誤解を受けると思う。支給方法ですが自動償還システムを取り入れて受給者が担当窓口まで来なくても直接助成が受けられ

る方式に改善できないか。

福祉課長 自動償還ですが県内ほとんどの市町村が実施している。

棚原 役場まで出向くのは大変だと、乳幼児を抱えている父母の方々から自動償還払い方式にやってほしいという要望も

あるので検討してほしい。このシステム導入は二七年度までは全額県の補助でできるという話も聞いている。

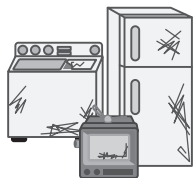
福祉課長 窓口償還のメリットもあるが住民の声が自動償還の方がいいということであれば検討したい。

問 家電の久米島那覇間の輸送費補助は

答 情報収集を行いながら、助成の可能性について検討

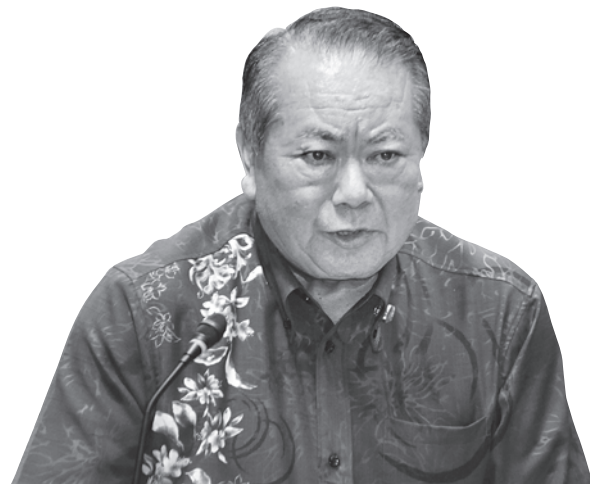
棚原 本町は町域のほとんどが島の自然公園に指定され町の景観条例も制定されていることから輸送費助成をし、町内の廃棄家電を一層する

必要があると思うが。**環境保全課長** 離島対策事業として輸送費にかかる助成があるように資料を収集して早めに取り組んでいきたい。



問 移住受入れ対策は

答 関係課と連携し進めていく



島袋完英 議員

島袋 県の移住受入協議会には本町も加盟しているかそして、協議会も行われているが、参加をしたか。

プロジェクト推進室長 協議会には加盟している。会にも参加し、町の取り組みを説明している。

島袋 空き家、空き地の対策、情報提供はどうか。

プロジェクト推進室長 間取りや、内部の写真等も公開している。空き地に関しては、関連する課と連

携を取りながら、前向きに進めていく。

島袋 全国フィッシング大会も数年前から実施されていない。ダイビング・釣り、ヨットやマイボート等海洋レジャーの拠点としては非マリーナは必要です。

町長 県の港湾課、総合事務局の港湾課と実現可能になるよう進めていきます。

問 兼城港内にマリーナの建設を

答 実現可能になるよう進めていく





仲村昌慧 議員

問 アーサ虫対策は強力に取り組め

答 駆除の確立に取り組む

仲村 アーサ虫対策については、沖縄県衛生環境研究所と町が防除対策に取り組んできたにもかかわらず、年々、アーサ虫の発生分布が拡大してきている。アーサ虫は皮膚の弱い方々に被害を与え、重症化することもある。アーサ虫対策は重要課題として取り組むべきではないか。

町長 環境保全課ではリーフレットやインターネットでの町民、県民及び観光客に情報提供し、粘着

シートによる捕獲駆除。民間の消毒メーカーによる防除薬品の確立。本年度の重点目標としてアーサ虫の駆除の確立に取り組んでいる。

仲村 22年から県が調査をし対策に取り組んできたが、防除方法が確立されていない。アーサ虫を根絶させるという強い意気込みをもって取り組んでほしいと思うが。

町長 新年度に向けて予算要求も含めて強く要望して取り組んでいきたい。

問 桜まつりの再開は

答 開催できるように調整する

仲村 これまで開催されてきた桜まつりが、26年度は誘客費対効果が見込めないという理由で、取りやめになった。今後は金をかけない方法でできないか検討したいと答えていたが、どう検討したか伺う。

町長 桜まつりについては一括交付金により、2年間観光協会が開催してきたが、観光誘客数が把握できないとのこと、開催を中止している。イベント再開については、観光協会や商工会との意見を交えながら、連携した開

催ができないか調整していきたい。

仲村 金をかけない方法でできないか検討する。事業を継続できるように提案するとしていたが、27年度は桜まつりを開催するのか。

商工観光課長 桜まつりについて、もう一回トライしようとして27年度の開催について時期も含めて観光協会と話し合っている。



問 移動売店を

答 重要な事項として進める

饒平名 久米島町も人口が減少し少子高齢化社会となつている。小さい集落は店も無くなり買い物に行きたくても行く事が出来ず大変不便な思いをしている、高齢者がたくさんいる。そのことを解消するためにも町として移動売店を検討してほしいが町長の考えは。

町長 特に高齢者の利便性向上のために移動売店は必要と考えています。町直営での実施が厳しいため、関係団体へ実

施の可能性について検討をお願いしている。

饒平名 どのような働きかけをしているのか伺いたい。

町長 県外の場合JAが主体となつてやるケースもある。例えば宅配車を町が購入し、指定管理が委託管理でさせる方法とか、条件整備の問題や委託管理の方法で中断しています。重要な事項として進めていきたい。

饒平名 少子化が進み高齢化社会である。現在ある墓地やこれから造られる墓地も含め維持管理が大変厳しくなると思われる。町民が安心して安く購入できる共同墓地は必要だと思つた。町長の考えを伺いたい。

町長 町内には十分な維持管理が出来ていない墓地がいたるところに建設されている。火葬場、葬斎場同一敷地内に合祀永代供養管理型公園墓地の整備を検討している。運営管理については民間業者に

行ってもらおう方向で考えている。

饒平名 久米島出身の沖繩本島、本土にいる方でも購入出来るか伺いたい。

町長 亡くなつてから遺骨は久米島に帰りたいと思う人も希望があればすべての方々に推進していきたい。墓地公園の整備を検討している。

饒平名 久米島で育ち島を離れても亡くなつたら島でゆっくり永眠をしたいと思う人がいると思う。また島に墓地があることで家族は久米島の墓に手を合わせに

来るのでいろんな経済効果も生まれると思う。

最後にこれから無縁墓地や維持管理のできない墓地が増えると思つが町長としてどのように考えているか。

町長 これはシビアな問題ですのでどう対処できるか考えていきたい。



饒平名智弘 議員

問 共同墓地を

答 墓地公園の整備を検討している

「手話言語法」制定を求める意見書

手話とは、日本語を音声ではなく手や指、体などの動きや顔の表情を使う独自の語彙や文法体系をもつ言語である。手話を使う、ろう者にとって、聞こえる人たちの音声言語と同様に、大切な情報獲得とコミュニケーションの手段として大切に守られてきた。

しかしながら、ろう学校では手話は禁止され、社会では手話を使うことで差別されてきた長い歴史があった。

平成18年12月に採択された国連の障害者権利条約には、「手話は言語」であることが明記されている。

障害者権利条約の批准に向けて日本政府は国内法の整備を進め、平成23年8月に成立した「改正障害者基本法」では「全て障害者は、可能な限り、言語（手話を含む。）その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される」と定められた。

また、同法第22条では国・地方公共団体に対して情報保障施策を義務づけており、手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備に向けた法整備を国として実現することが必要であるとする。

よって本町議会は、政府と国会が下記事項を講ずるよう強く求めるものである。

記

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法（仮称）」を制定すること。

上記のとおり地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年6月18日

沖縄県久米島町議会

あて先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣

議会の傍聴へ行こう

次回定例会は
9月7日(月)開会予定

傍聴は議会の活動や町制の動きを知るチャンスです。本会議では、町民生活に関わるさまざまな決まりごとや問題について、審議が行われています。また、一般質問では、町長の考えを聞くことができます。今、まちづくりがどのように行われているのか、町民、議会、役場（執行部）みんなで情報を共有し、協力してより良いまちづくりを進めていくためにも、ぜひ傍聴にお越しください。

仲里庁舎1階にて
一般質問の様子を
テレビモニターで
ご覧いただけます。

議会の
うごき

■ 平成27年 5月 ■

9日・TPPから国益を守る沖縄県民
集会へ議長出席

15日 ● 広報委員会

- 21日・久米島和牛改良組合総会に議長出席
- 22日・久米島商工会通常総会に議長出席
- 24日・琉球大学サテライトキャンパス開所式に副議長
出席
- 28日・久米島マラソン実行委員会に議長出席
・久米島まつり実行委員会に議長出席
・久米島産業まつり実行委員会に議長出席
・久米島紬通常総会に議長出席

29日 ● 議員全員協議会

■ 平成27年 6月 ■

7日・防衛局補助事業要望調整へ議長出席

11日 ● 議会運営委員会

・久米島町水難防止推進協議会に副議長出席

17日 ● 6月定例会

18日 ● 6月定例会

- ・広報委員会
- ・JICA研修生との交流会議長ほか出席

- 20日・久米島郷友会連合会交流会に議長ほか出席
- 23日・町慰霊祭に議長ほか出席

■ 平成27年 7月 ■

- 1日・南部市議会研修会に議長出席
- 2日・米国領事記念式典に議長出席
- 3日・なかざと交流会に議長出席
・地元産品・企業優先使用要請に議長出席
- 5日・球美中運動会に議長ほか出席
- 7日・正副委員長研修会に議長ほか出席
- 12日・久米島西中運動会に議長ほか出席
- 13日・沖縄県町村会総会へ議長ほか出席
・久米島町観光協会総会へ副議長出席
- 17日・県産品優先使用要請に議長対応
- 18日・中泊町ビーチサッカー大会に議長ほか出席
・久米仙杯パークゴルフ大会
・和牛セリ
- 23日・楽天協力会総会に議長出席
- 24日・沖縄県農林水産部南部市町村行政懇談会に議長
出席
- 30日・防衛局補助事業要望調整へ議長出席
- 31日・佐賀市・久米島中学生交流会歓迎会に議長出席

おめでとうございます

旭日単光章受賞
城田 盛昌 氏



7月7日、叙勲の伝達式が県庁で行われ、安慶田副知事から宇江城の城田盛昌さんに高齢者叙勲、旭日単光章が伝達されました。

城田さんは、昭和45年9月仲里村（現久米島町）議会議員に初当選して以来、3期12年間、村議会議員として、ご活躍されました。

その間に常任副委員長などを歴任され、地域振興、住民福祉の向上、教育文化の振興など、幅広い分野で地方自治の発展のために尽力した功績が認められたものです。

城田さんの受賞をお慶び申し上げますとともに、その功績に敬意を表し、今後のご活躍をお祈りします。

編集後記

去る7月6日くめじま山羊生産組合定期総会が、活発な質疑応答の中無事終了した。島内の山羊生産状況は、頭数は近年減少傾向にあったが、去年頃から山羊肉需要が伸び新に、山羊を飼う農家や増頭する農家が増えている。

島内には、時期的に子山羊、繁殖用の山羊が多く飼養されている。山羊肉料理用として販売できない為、南部家畜市場のセリや、沖縄本島の農家から直接購入する人が増えている。

山羊飼養の増加の背景には、琉球大学農学部砂川名誉教授ら研究チームが「ヤギ肉料理が血圧を上げる」との一般的なつわさは、料理に使う塩分が原因だとする研究結果を発表されてから需要が伸びていると思われる。

県畜産課は、15年度から「おきなわ山羊生産振興対策事業」を始める繁殖技術の開発や県内各地の農家から集めたデータを基にした経営モデルの作成など実施すると言っており、山羊肉の食文化発展、普及の可能性に期待したい。

広報委員

- 仲村 昌 慧
- 崎村 正 明
- 翁長 学 智
- 宇江原 総 清
- 饒平名 弘

(崎村議員)